常磐毎日

発行所
平市田町75
常磐毎日新聞社
電（代表）2104番
2105番

本院　平市二の二九（本町通り）（午前）電話（平）二三五五
カノウタ
叶産婦人科
分院　湯本駅前天王崎（午後）電話（常磐）四〇一

社告

五月一日附夕刊を朝刊にて発行致します

諸橋（平市長）からくも三選

沼田（内郷）赤津（勿来）も当選

市議選は新人矢吹が最高点

新しい市町村長の顔振れが決つた県下の耳目を集めた平市長には最終まで激しい競り合いをみせながら夜十時二十分にいたり現役の強みを発揮した諸橋久太郎氏の当選が決まり、同氏の三選が確定した内郷市でも沼田一夫現市長が次点を一万余票引離して圧勝。勿来市長には古川現市長の身替り出馬した赤津庄兵衛氏が当選の栄冠を得たほか、遠野町は小沢要助、好間村は鈴木栄一現村長、川前村は永山忠二、田人村は小宅光秋の四氏の当選が確定した。

市町村長・議員の開票結果

首長選挙

平市長

当選　一八、九三五票　諸橋久太郎　65　無前
次点　一八、八九一票　大和田彌一　56　無新

内郷市長

当選　一三、三八三票　沼田一夫　50　無前
次点　三、七四四票　菅本三義　49　無新
二、八二四票　磯貝信夫　60　無新

勿来市長

当選　一三、五三三票　赤津庄兵衛　64　無新
次点　九、八二五票　星友太郎　63　無新

福島市長

当選　三三、二〇二票　佐藤実　53　自新
次点　三三、一六二票　林谷主計　48　無前
二、八二八票　遠藤雄蔵　50　共新

郡山市長

当選　二一、三七九票　秀瀬日吉　60　社新
次点　二〇、四八六票　丹治盛重　61　無前
七、九二五票　下河辺行雄　57　自新

好間村長

当選　六、八八五票　鈴木栄一　57　無前
次点　三、〇二六票　小川喜久栄　51　無新

川前村長

当選　九六六票　永山忠二　63　無元
次点　九一七票　駒木根祐二　64　無新
一〇一票　永山徳三郎　40　無新

遠野町長

当選　三、〇二五票　小沢要助　56　無新
次点　二、八〇一票　大野正　68　無新

田人村長

当選　二、二二一票　小宅光秋　52　無新
次点　一、四九七票　西山繁三　63　無新

議員選挙

平市議（定員36名）

当	一一五〇	遠藤幸一郎	無新
当	八五一	花沢久一郎	無前
	五八五	会川伊重	無前
当	一〇六五	坂本登	無前
当	六六二	山部隆雄	無新
当	八二三	坂本昌蔵	無前
当	八二二	佐藤友彦	無前
当	七九七	宮内喜一	無新
当	八四二	塩庄造	無前
当	六八八	渡辺栄一	無新
当	七一九	諸橋正次	無前
当	一〇八〇	鈴木良平	無新
当	七二三	中野二郎	無前
	二六六	坂本惣次郎	無新
当	一〇四五	小野栄一	無前
当	九二〇	金子松勇	無前
当	八九三	国井一美	無元
当	七三三	篠崎利勝	無前
当	一〇一一	大泉信雄	無前
当	八七二	和貝勘次郎	無新
当	八五三	石山一治	無前
当	八四一	町田亀治	無前
当	一五八〇	矢吹大一郎	無新
当	八一七	渡辺昇	無前
	三一三	菊地秋明	無新
当	八七四	金子政通	無前
当	八五四	鈴木寅次郎	無前
当	一〇八六	大和田実	社新
当	九四五	強口唯七郎	無前
当	八七七	佐川吉平	無新
当	一一二二	四家健雄	無前
当	七三四	塩演瑛	無前
当	六一〇	木田源六	無新
	二四	西郷博志	無新
	五二八	新妻忠直	社新
	四二七	吉田知友	無新
当	一〇七八	松本節広	無新
当	七二八	志賀兼太郎	無新
	四四八	水竹伊之助	自前
当	一一七九	志賀季三郎	無前
当	九五六	小野蒔秋	無前
当	一〇一五	上坂昇	無前
	四三〇	新妻荒衛	無新
	二五七	高萩久米雄	共新
	四〇四	熊田徹雄	社新
当	八一九	鈴木隆衛	無前
	三一三	永山富寛	無新
	五九九	福田長一郎	無前
	四九七	鈴木勇	無前

内郷市議（定員30名）

当	五二一	吉田正毅	無前
	二九四	志賀忠司	社前
	二五〇	高橋喜一	無新
当	八一三	松本甚四郎	無新
当	五一六	円谷兼広	無前
当	五一〇	星野定勝	無新
当	六二七	佐々木運吉	無元
当	七三一	平川蒔司	無新
当	四一六	熊田豊次	社前
	一七一	山崎あきら	共新
当	五四一	草野三郎	無前
	六四	佐藤作蔵	無新
当	五七一	柿沼新五郎	無前
当	五〇二	工藤正雄	無前
	三三三	菅野光毅	無前
当	四五三	遠藤寅雄	無新
当	三九一	方波見勇	無新
当	四七四	天海繁	無新
当	四〇九	山崎敬道	無新
当	四七五	山内圭税	社新
当	四七四	斎藤明	社前
	一九五	高萩辰男	無新
	三六〇	草野啓助	無前
当	四二三	瓜生新六	無新
	一一九	加藤木啓吉	無新
当	五一〇	吉田栄	社前
当	四五九	佐藤真吾	社前
	三三八	四ツ倉清一	無元
	二六一	鈴木孝長	無新
当	四九〇	菊谷高伊	社前
	三三八	根本正	無前
当	五四八	斎藤随行	無前
	三五八	佐藤克雄	社新
	二八三	緑川千代治	社新
当	三九三	鈴木磐夫	無元
当	三七〇	須田一男	無前
当	三七六	本田辰雄	社前
次	三六三	菅原政一	社前
当	六七一	坂内運司	無前
当	三六六	小池博太	社前
	三三三	大谷貢	無新
当	四四〇	山田弘	社新
当	五一〇	寒河江梅吉	無前
	三三六	佐川好男	無元
	三五〇	高木良平	社新
	二四五	芳賀武	無新
当	四三八	阿部国吉	無前
当	五六六	菅波大十一	無新
	一九七	渡辺仙一郎	共新
	一七二	市川定吉	無新

好間村議（定員28名）

当	六〇六	強口勝美	無元
〃	五四七	山本学吉	無新
〃	四七二	高島好雄	無新
〃	四四三	大滝誠志	無前
〃	四四五	中村仁	社新
〃	四一〇	穂積博光	無前
〃	三六六	飛田豊	無前
〃	三五六	阿部正見	無新
〃	三一七	和合留治郎	無前
〃	三〇六	遠藤章	無前
〃	二九九	平川一郎	共新
〃	二七九	白石金吾	無新
〃	二九一	大内好	無前
〃	二八五	深谷秀信	無前
〃	二八五	佐藤酉吉	無前
〃	二七九	志賀一雄	無新
〃	二七九	高塩正一	無前
〃	二七八	鈴木武男	無新
〃	二八三	志賀武弼	無前
〃	二六四	大平黎平	無前
〃	二八三	鈴木武正	無新
〃	二五三	今村兼次	無新
〃	二三八	高萩貞助	無新
〃	二四〇	中村国次	無前
〃	二三四	小野忠雄	無前
〃	二三〇	栗島圭税	無前
〃	二一七	佐藤初太郎	無新
〃	二〇八	石井広雄	無前
次	二〇一	木ノ内武	無新
	一九四	大河原日出男	無新
	一八四	猪狩酉五郎	無前
	一八一	横田清太郎	無新
	一六一	外崎勝造	無前

常磐市議（定員30名）

当	一、一八二	金成博治	無新
当	一、〇七七	佐瀬誠	社前
当	九三三	小井戸庄松	無前
当	九七九	遠藤蒔助	無新
当	九四六	荒谷芳夫	無前
当	八六九	日野俊男	無前
当	八六六	生田目清	社前
当	八一六	斎藤晴夫	社新
当	八五九	青木忠男	無新
当	七六七	岡助一	無新
当	七五七	橋本三雄	無新
当	七〇七	御代武光	無前
当	六九一	滝義勝	無前
当	六四六	松本庫造	無前
当	六四二	白石笹[illegible]郎	無前
当	六三三	織内広子	無前
当	六三一	西山一男	社前
当	六二〇	四家重雄	無新
当	六二〇	白土正毅	無新
当	六〇二	大平国市	無前
当	五八九	中野新平	無新
当	五八四	末永忠夫	社新
当	五八四	佐藤勇	社前
当	五八三	磯上佐衛司	無前
当	五八一	高萩佐久馬	無前
当	五九三	岡田長治	無新
当	五二五	土田博	社新
当	五二三	駒木根定之助	無前
当	五〇二	八矢利吉	無新
当	四七一	神田毅英	社前
次	四六四	大村哲也	無新
	二八八	鈴木徳夫	無新
	二六一	西原新七	共新
	二三五	渡辺卯之治	社新

田人村（定員18）

当	二三五	緑川捨一郎	無新
〃	二一〇	蛭田儀一	無前
〃	二〇二	緑川不二男	無新
〃	一九九	緑川芳文	無前
〃	一九九	緑川音吉	無前
〃	一九六	蛭田源六	無新
〃	一八六	緑川直人	無新
〃	一八三	蛭田寿男	無新
〃	一八〇	油座武雄	無元
〃	一七九	小宅寅一	無新
〃	一七八	緑川親	無前
〃	一七五	蛭田栄太郎	無前
〃	一七五	芳賀武	無新
〃	一六九	佐藤豊之助	無前
〃	一四九	星重安	無新
〃	一四五	大橋伝太郎	無前
〃	一三五	中村猛一郎	無新
〃	一三一	平子国正	無新
次	一一七	斎藤芳太郎	無元

川前村（定員16）

当	一五三	佐藤伝一	無新
〃	一三六	永山徳二	無前
〃	一一七	会田忠一郎	無前
〃	一〇二	高野沢政雄	無新
〃	九三	新妻運造	無新
〃	一〇七	川津佐々木	無前
〃	一〇四	会田このむ	無新
〃	七八	大越岩男	無新
〃	八九	安藤和太郎	無前
〃	九〇	堀茂樹	無新
〃	一二〇	大平武	無新
〃	一〇九	佐藤豊彦	無前
〃	九九	加藤春松	無前
〃	七七	渡辺政毅	無新
〃	一二八	吉田繁	無前
〃	七七	宇佐美勝美	無前

朝二時まで票読直し

平市長選44票差でもめる

開票は内郷市を除いて市町村長と議員を同時に行なつた。内郷市では十時にいたり沼田一夫氏が現役の強味を十分に発揮して次点の菅本氏を九千票を引離して圧勝、見事三選の栄冠を獲得した。勿来市でも十時に赤津庄兵衛氏が一万三千五百三十三票を得て当選が確定し、次点の星友太郎氏は九千八百二十五票どまりであつた。む効百四十五、持帰り一票であつた。

平市は最後まで僅少の差で競り合い、十一時に諸橋氏が一万八千八百四十八票で、僅か五十八票の差で優勢だつたが、疑問票二百十七票のうち大和田氏とみられるのが百六十票、諸橋氏九十七票で朝二時までかかつて判定した結果、大和田氏とみられた百六十票のうち五十九票を無効、諸橋氏とみられた九十七票のうち七票を無効と決め、ここに諸橋氏の当選が確定した。最後まで余断を許さぬ接戦を演じただけに、当選の栄を獲得した諸橋氏の喜びは大きいものがあつた。

町村長関係も十時に遠野町では小沢要助氏が三千二十五票で当選が確定した。次点は大野氏の二千八百一票で無効二十八票であつた。

また、好間村長も十時四十五分に鈴木栄一氏が六千八百八十五票で当選、次点の小川喜久栄氏は三千二十六票であつた。同村の無効投票は二百七十七票、持帰り八票であつた。

川前村も十一時に永山忠二氏が九百六十六票で次点の駒木根氏と僅か四十九票の差で勝利をおさめた。無効は四十四票

物いつたバック"釜屋"

平、最後まで競合う

追いつ追われつのシーソーゲームを演じた平市長選には諸橋久太郎現市長が見事、大和田氏の三選阻止を封じて当選したが、同氏の当選のカギは旧家釜屋をバツクとした強力な支持団体が動いたことによるもので、諸橋個人への政治手腕よりもバツク釜屋のノレンが勝因といえるわけだ。それだけに、こんどの選挙は"三選阻止"の旗印をかかげた大和田氏も社会党などの革新系や常磐交通のようなバツクで、これに対抗し激烈な戦いを演じただけに平市を真二つに割つての選挙戦をくりひろげた。このため空前の選挙違反を出しているとさえいわれるほどである。

写真上から当選の諸橋平、沼田内郷、赤津勿来の三市長、小沢遠野町長、小宅田人村長。

九三%・戦後の最高

好調だった投票率

絶好の選挙日和に恵まれた最後の地方統一選挙である三十日の市町村長、同議員選挙は総体で九二・九二%と去る三十年に行なわれた町村長選挙投票率を若干上回り、戦後最高の好投票率をみせた。このように投票率のよかつたのは最も身近かな選挙と天気に恵まれたことによるもので、このため農村地帯の率のよかつたことが原因している。各市町村別にみると好間村の九五・七〇%をトップに田人[illegible]までこぎつけた。各市町村別による投票者数と投票率、男女別のとおり。

平　市　三八、四六三票（[illegible]・九八四、二〇・四七九）九[illegible]八四%（九二・九二、九二・七[illegible]）

内郷市　二〇、六三六票（[illegible]・八二六、一〇・八一〇）九[illegible]二六%（九四・五四、九四・〇[illegible]）

常磐市　二三、七八七票（[illegible]一・〇九〇、一一・六九七）[illegible]

[illegible]

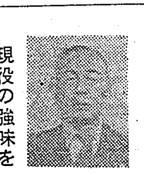
生涯の感激です

平市長諸橋久太郎

[illegible]

平市議に当選した右上から遠藤幸一郎、花沢久一郎、坂本登、山部隆雄、坂本昌蔵、佐藤友彦、宮内喜一、塩庄造
渡辺栄一、諸橋正次、鈴木良平、中野二郎、小野栄一、金子松勇、国井一美、篠崎利勝、大泉信雄、和貝勘次郎
石山一治、町田亀治、矢吹大一郎、渡辺昇、金子政通、鈴木寅次郎、大和田実、強口唯七郎、佐川吉平、四家健雄
塩演瑛、木田源六、松本節広、志賀兼太郎、志賀季三郎、小野蒔秋、上坂昇、鈴木隆衛

現役の強味を発揮した沼田



沼田現市長の三選[illegible]郷市長選挙も沼田[illegible]閥に歯が立たず、[illegible]とも沼田氏に九千[illegible]

最高点当選の矢吹氏（平市）

[illegible]

"選挙毎に若返る"

全国最年長　鈴木（寅）氏談

全国市町村会議員の[illegible]に当選した鈴木寅[illegible]当選の喜びを「当[illegible]うれしいものだ。[illegible]に若返り"この元[illegible]

革新系握って勝つ

勿来、地盤固めた赤津

[illegible]

当選の喜びに包まれる赤津（勿来）新市長

[illegible]

大谷石
上井
平五　電二〇六六

良子ちゃん
ハねらる

割烹
嗣花

クリーニング
洗張・防水
小松崎
平田町　電3343

内科
小児科
後藤医院
後藤全久
平市白銀町　電二〇三〇

内科
外科
産婦人科
★入院随時
前田医院
院長　前田清美
副院長　前田春雄
勿来市植田町
電（植田）二一二番

申告 所得税のベストテン

トツプは600万円で常磐炭礦の越智所長

漁業家はちよう落 会社役員が増える

平税務署では一日、管内の三十三年分申告所得税（二百万円以上）のベストテンを発表したが、昨年まで首位を占めていた漁業関係者の姿が消え、これに変つて会社役員の進出が目立つている。所得額の最高も昨年は磐城市中の作の漁業、吉田諒勝氏が八百五十万四千円だつたのが法人切かえと不漁で二百万円にならず、四位だつた常磐炭砿社長の越智英勇氏が六百四十四万三千円でトツプに立つた。とくにことしは、昨年まで一位から三位までを占めた漁業家が二百万円以上は一人も見当らず、二百万円以上の所得者三十六人のうち会社役員が二十人まで占めている。次が製材業四人、医師四人、酒造業二人で他は土建、採炭業、弁護士、日本料理、鉄工、旅館の各一人となつている。

これを三十一年度からの推移をみると三十一年度分では一位は漁業の吉田諒勝氏（磐城市中の作）が八百二万二千円でトツプに立ち、二百万円以上三十五人のうち漁業者十四人、会社役員十一であつたが、三十二年度も、やはり吉田諒勝氏のトツプで四十一人のうち漁業は二十人と増え、会社役員も十二人を占めていたが、ことしに入つて漁業の不振と法人組織に切替える者が多くなり漁業家は一人も出なかつた。なお、ことしの二百万円以上の所得者は三十六人で、二十位までは次の通り。（カツコ内は住所と勤務先および職業）

❶六四四、三千円…越智英勇（常磐市辰の口、常磐炭砿所長）
❷五三七、五千円…諸橋元三郎（平市五丁目、諸橋合名会社）
❸四五一、三千円…小林世之三郎（内郷市内町、常磐炭砿）
❹四三一、一千円…岡田千草（四倉町厚田、磐城セメント）
❺四〇四、一千円…飯島隆俊（内郷市内町、常磐炭砿）
❻三六九、五千円…古川伝一（勿来市本町、酒造）
❼三六九、四千円…野崎満蔵（平市旧城跡、常磐交通）
❽三六四、〇千円…野崎喜八郎（平市才槌小路、常磐交通）
❾三五六、七千円…木山茂彦（常磐市辰之口、常磐炭砿）
❿三三四、二千円…松本勇（平市中平窪、酒造）
⓫三一七、五千円…野崎理夫（平市旧城跡、常磐交通）
⓬三一六、七千円…滝口寅夫（平市正内町、製材業）
⓭三一二、七千円…藤田喜次男（磐城市松の中、土建業）
⓮三〇七、五千円…寺田努（内郷市内町、常磐炭砿）
⓯二九一、七千円…千葉久三郎（内郷市、常磐炭砿）
⓰二七六、五千円…今泉重エ門（勿来市、採炭業）
⓱二六五、五千円…若松修一（常磐市三函、湯本信用組合理事）
⓲二六〇、一千円…寺島幸夫（勿来市大倉、医師）
⓳二四六、七千円…芹沢政喬（平市南町、製材業）
⓴二四五、〇千円…吉野勝重（勿来市佐糠、製材業）

石城の人は肉が大好き

県下一、四十万キロを腹に収める

食生活改善に一役担う

食卓などをにぎわしている肉は、いまでは各家庭の副食のなかでも大きな比重を占め、年々その量も増えているが、平保健所でまとめた三十三年度における石城郡内の肉消費量をみると、総量は一万八百四頭で、肉にして三十九万九千七百四十八キロ（約十一万六千七百十二貫）この量は昨年より約十四万キロ多くなつており、石城郡下では一人当り一・八キロ（四百八十匁）を食べたことになり、県下では一番の肉食生活を営む人が多くなつているわけ。なかでも大衆向きとして親しまれている豚肉が全体の約六割をしめている。

各肉類別にみると豚が筆頭で九千五百三頭、肉にして三十五万一千五百キロ（約九万五千貫）次いで牛の三百二頭で肉が五万九千六百四十四キロ（一万六千百二十貫）馬の四十八頭で一万六百五十六キロ（二千八百八十貫）山羊の三百九十五頭で九千七百六十九キロ（二千三百七十貫）緬羊の五十七頭で千二百五十五キロ（三百四十二貫）となつている。

月別にみると最も多く消費されたのは、忘年会やクリスマスなどの行事のある十二月で、千二百八十六頭、次いで一月の千三十頭、十月の九百五十三頭、十一月の九百五十頭とつづき、最も少ないのは六月の六百十三頭だつた。

また石城郡内には平と磐城の二カ所に屠場があるが、平屠場では年間八千九百九十七頭、磐城屠場では千八百七頭がそれぞれ屠殺されている。

これら肉は郡下は勿論のこと、一部は東京方面に移出されるものもある。県内の肉消費量では石城地区、とくに平市がトツプで福島、梁川がこれについている。

英国大使館員 スリ被害

犯人は盗品すて逃走

三十日朝平鉄道公安室に二件のスリ被害が届けられ英国大使館勤務の職員がパスポートなどを盗まれた◇同日午前二時ごろ東京在住英国大使館勤務ハーバートテイラーさん（三三）は常磐線上り二一二列車平ー高萩間仮眠中、パスポート、乗車券、ビニール財布が入つてる上衣が盗まれた。犯人は高萩駅に下車して駅員に発見され盗品をなげ出して逃走した。

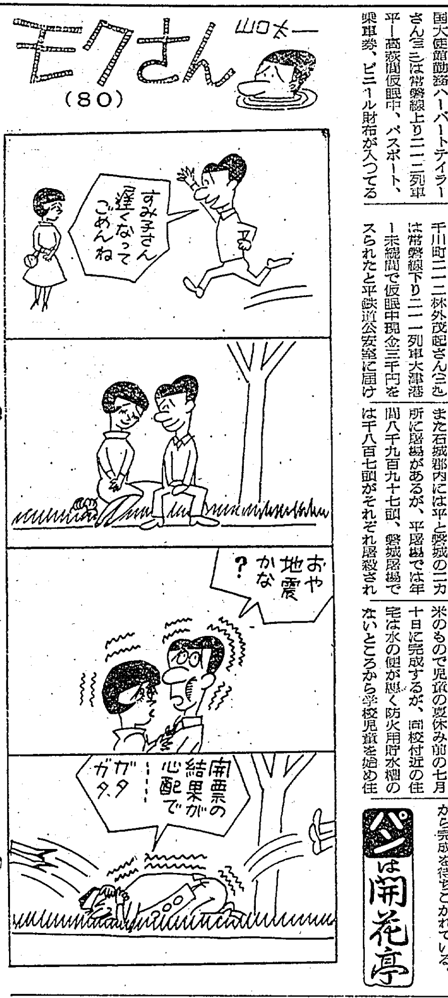
◇同日午前三ごろ東京都豊島区千川町二ノ二林外茂起さん（三九）は常磐線下り二一一列車大津港ー末続間で仮眠中現金三千円をスられたと平鉄道公安室に届け

泉剣友会で五日に剣道大会開く

磐城市剣友会泉支部では、子供の日に当る五日午前九時から泉中学校で剣道大会を行う。

平二小 プール兼防火水槽を建設

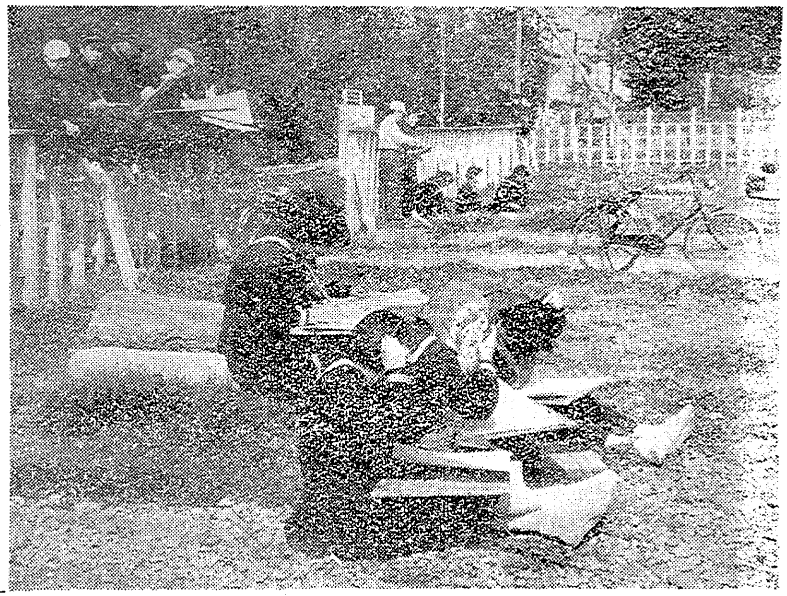
平市第二小学校（湯山啓二校長）では去る二十九日午前十時から同校の防火水槽兼プールの地鎮祭を諸橋市長始め多数の来賓を招いて挙行、三十日から志賀組が請負つて着工した。このプールは総工費二百万円で延長二十五米、巾十五米のもので児童の夏休み前の七月十日に完成するが、同校付近の住宅は水の便が悪く防火用貯水槽のないところから学校児童を始め住民らは防火用水が出来ると大喜びである。プールの特徴としては、平一小（揚土プール）磐高のプールとは異なり、排水の便を良くするため土砂を積上げて作られ、深さは一、二年生が八十センチ、三、四年生は一米、五、六年生は一・二〇米に割られ、各学年別にプール内に傾斜をつけ安全第一をモツトーとしている。児童たちはいまから完成を待ちこがれている。


モクさん
（80）
山口太一
すみ子さん 遅くなって ごめんね
おや 地震かな ？
開票の結果が心配で
ガタガタ

パンは開花亭

緑はそよぐ

学童のスケツチシーズン



【写真は熱心にスケツチする学生たち＝平市八幡小路地内で】

五月の空に威勢のよい〝こいのぼり〟が薫風を大きく吸つては、はき出す。また一杯に吸い込むー。もえるような若葉が街も、そして野や山を包み、初夏が訪れたのだ。〝こいのぼり〟の矢車が聞える丘には、写生に集つた学生たちで賑わい思い思いにスケツチする光景が人目をひいている。どつかと腰をおろした芝生の下から若芽が大きく伸び、のんびりセーラー服をなでつけていく風にも初夏の香りが充満している。

文具のナガノ 平市銀座街 電二〇四八

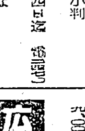
磐城防犯泉支部の総会

磐城市防犯協会江名支部の総会は二日午前十時から永崎小学校で開き、席上予算報告、行事予定、支部長の改選などを行う

魚菜市況

青果（単価キロ当り）

▽ネギ 二五ー三五
▽〃（小束） 一五ー三〇
▽大根 六ー一五
▽カブ（一束） 四ー一二
▽ニンジン 四五ー六〇
▽ゴボウ 一五ー三五
▽サトイモ 二八ー四〇
▽ニラ 六ー一一
▽葉タマナ 一〇ー一三
▽タマナ 三五ー四五
▽ワラビ 七ー一五
▽キウリ（一本） 七ー二〇
▽タケノコ 三五ー五〇
▽ハス 四五ー七〇
▽フキ（一束） 八ー三〇
▽キリミツバ（一把） 三〇ー四〇〇
▽ウド 一〇ー二五
▽アブラナ（一束） 三・五ー五
▽ホウレン草（一束） 七ー一〇
▽リンゴ（一箱） 四五〇ー一〇〇〇
▽ミカン（一三・五キロ） 五〇〇ー七五〇
▽夏ミカン（三七・五キロ） 六〇〇ー一三〇〇
▽バナナ 二二〇ー二五〇
▽タマゴ（一個） 九ー一一
▽イチゴ（一箱） 四〇ー八〇



★平市
★平館 四日迄 電[illegible]
六、三〇 二等兵物語
八、一〇 修羅桜
★平新東宝 四日迄 電[illegible]
七、四五 悪魔の化身
八、一七 巨猫と魔王征服
★世界館 四日迄 電[illegible]
六、五九 紅あざみ
八、二〇 講道館に陽が上る
★東映劇場 四日迄 電[illegible]
七、〇四 母子草
八、三六 おしどり道中
★民劇 四日迄 電[illegible]
六、一六 一丁目一番地
七、二四 かんざし小判
八、四六 水戸黄門
★聚楽館 四日迄 電[illegible]
六、四四 大西長
八、二〇 拳銃のわな
★ひかり座 四日迄 電[illegible]
六、五五 悪党のカシム
八、三五 決闘一対三

【四倉】
★国際劇場 二日迄
七、二〇 白蛇伝
八、四四 柴頭巾
★海盛座 一日迄
六、二〇 月が地球を廻つている
七、四五 東京ロマンスウエー
九、〇〇 赤い陣ばおり
★東宝 一日迄
六、二〇 東京ロマンスウエー
七、四五 赤い陣ばおり
九、〇〇 月が地球を廻つている

【内郷市】
★綴映劇 三日迄
六、二〇 新婚列車
七、〇〇 おじいちゃん
九、〇〇 今日に生きる
★第二いわき 四日迄
六、三〇 娘の冒険
七、四〇 深夜の挑戦
九、〇〇 孔城の花嫁
★植田館 四日迄
大怪獣バラン
遊太郎巷談
網走番外地
★菊多館 四日迄
オーストリアの旅
月光仮面
くもの巣屋敷

広越の牛豚肉

NHK第1 【今晩の放送】 ラジオ福島

時	分	NHK第1	時	分	ラジオ福島
6	05	こどもの時間	6	00	チヨコラの童話
	25	一丁目一番地		45	音楽の小箱
7	15	録音ニュース	7	10	録音ニュース
	30	浪花演芸会		30	こども名作劇場
8	15	ここはどこでしよう	8	00	素人歌合戦
	30	輝くステージ		30	スイートメロデイー
9	10	きようのニュースから	9	00	浪曲歌合戦
	45	生活のうた		30	歌の星座
10	15	放送劇	10	05	連続浪曲
				25	ガイドタイム
11	10	趣味の手帳	11	05	時事解説
	25	世界をつなぐ		50	夜の随想

テレビ

6、00 漫画映画	9、00 テレビ劇場
6、35 スポーツ・グラフ	9、
7、15 ドラマ「バス通り裏」	10、20 ニュースの焦点
7、30 危険信号	10、
8、15 隣りも隣り	11、
8、30 こぐま物語	

NHK第1 【明日の放送】 ラジオ福島

時	分	NHK第1	時	分	ラジオ福島
⑤	05	人生読本	⑤	30	録音風物誌
	15	早起き鳥		45	朝の歌謡
⑥	15	村の広場	⑥	10	農家の手帳
	40	明るい茶の間		45	スワローメロデイー
⑦	15	音楽	⑦	10	仁丹一粒エチケツト
	45	海外特派員報告		35	スーパーメロデイー
⑧	05	名曲をたずねて	⑧	10	ご気嫌いかが
	30	朝の口笛		55	朝のハーモニー
⑨	10	主婦日記	⑨	00	陽気な山彦さん
	35	メロデイーにのせて		15	チヤツカリ夫人とウツカリ夫人
⑩	05	幼児の時間	⑩	05	奥様お手はそのまま
	20	デイスクジヨツキー		50	愛しきばあの人
⑪			⑪	05	昼の希望音楽会
				55	農家のいこい

火花散る男の死斗

アキラの早打ち二連銃

映画 平館

二連銃の鉄

今や裕次郎につぐアクション・スターとして、全国ファンの人気を浴びつつあるマイトガイ・小林旭が、早打ち二連銃の威力で男の斗魂を爆発させるのが、この〝二連銃の鉄〟である。

川内康範の原作を川内康範、中西隆三が共同脚色し、ベテラン阿部豊監督が、久々のアクシヨンに大いなる野心を燃やして取組んでいる。

キヤストは、二連銃の名手、鉄に、前記の小林旭がふんし、恋人に南田洋子（二役）を始めとして、弟分の船員に人気上昇の沢本忠雄、その恋人に堀恭子又鬼船長には二本柳寛、更に岡田真澄、安部徹、内田良平、近藤弘、奈良岡朋子、小園蓉子、神山勝、弘松三郎、茨真木子といつた新旧ベテランが競演する豪華配役陣である。

物語＝ここはさい果ての港町ー

碇泊している船々に美しい灯がともると、市内の盛り場にも華やかなネオンがきらめく。

密猟船北海丸の犬塚船長は、今夜も苦虫こと加藤機関士と、ぼやきことコツクの山田を伴つて、ずらりと並んだ射的屋覗き。ラツコの密猟にどうしても、鉄砲の名手が必要なわけだが、毎晩無駄足を踏むばかりだつた。

しかし、その夜、思いがけぬ収獲に犬塚船長はご気嫌だつた。

それは、北海の荒海で、船仲間から〝二連銃の鉄〟と恐れられていた鉄太郎をふとしたことで救つたからである。

その日、鉄は五年振りに出獄し、飲屋の代金を射的屋で稼いだが、地廻りの仙吉に因縁をつけられ、持前のパンチで子分たちを倒したものの、卑きような仙吉のジヤツクナイフで負傷したのだつた。

その鉄が犬塚にかつぎこまれて手当を受けたところは、「花村」というあいまい屋。犬塚はそこの若い雇われマダム美也子が、初対面の鉄の過去に詳しいので、目を丸くするのだつた。

一方、眠りからさめた鉄は始めて犬塚に助けられたことを知つた。

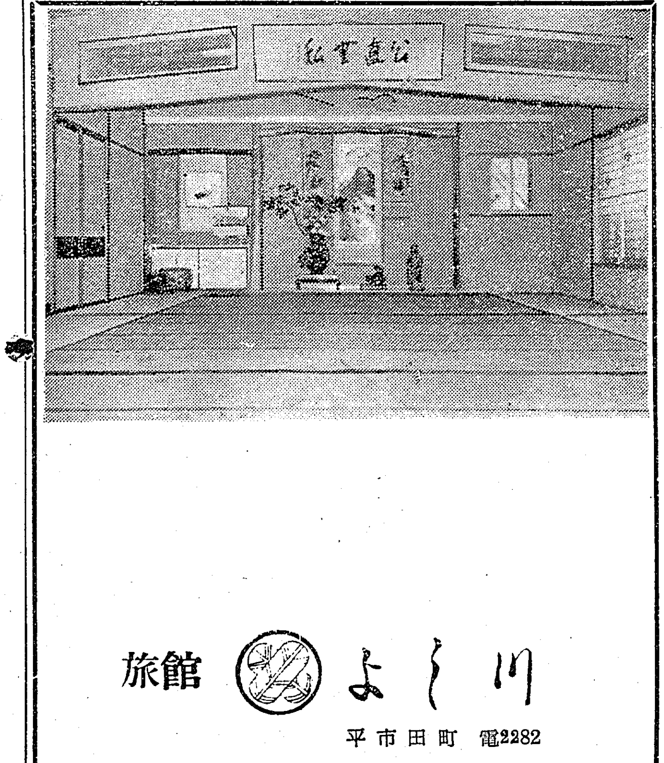
「オレは相変らず地獄船の船長さ。お前の自白で、監獄に入れられたアラスカ丸の船長宵柳ももう出獄する時分だぜ」

犬塚は同じ密猟仲間である宵柳一味の鉄に対する復讐を心配すると共に、ラツコ射ちにかけては天下一品の鉄が、女のために足を洗つたことを惜しむのだつた。

「なあに、一航海でいいんだよ。金になるぜ」犬塚の熱心な勧誘を断つた鉄は、苦笑しながら犬塚が出て行つたあと、枕もとに置いた想い出の指輪を思わず握りしめて、過去を追想するのだつた。

出航間際に恋人ヨシ子から愛のしるしに貰つた誓いの指輪。そのヨシ子が仲間の健次に犯されたと知つた時の苦しみ。健次を岸壁に連れ出し、一撃のもとに殴り倒すと、泣きながらとりすがるヨシ子の手を振り払つてその足でラツコ密猟を自首して出た自分。

D P
カメラとシネ
富士商会
電4744


旅館 よし川
平市田町 電2282

靴はフカヤ

毛糸 ダイヤモンド ビクター
フランス人形 アクセサリー
ハシモトヤ糸店
平市銀座 TEL4315 4316番

カメラは田中

福助ミシン・トヨタ編物機
河合ピアノ・オルガン
綴の 小山商会
ミシン部・楽器部
TEL 3576

銘菓 大段最中 平凡

丈夫で 文部省教育用品 はきよい
セカイチヨ ロマンス型 運動靴
流行ビニール靴 紳士 婦人 子供
平市 三友ゴム 株式会社 紺屋町

TSA
我社が誇る
緻密なる設計と強度計算・堅実な工作
☆一般鉄骨建築御相談下さい☆
鉄骨・産業機械・設計製作
平市谷川瀬39丁26 株式会社 平工製作所 TEL・5718 5719

タクシーの御用命は
2640
2175
2176
好間営業所は
5372
5647
尼子タクシー
代表取締役 吉田健造

常磐名産
（登録商）
常磐 常磐
黒羊かん
黒びかん
おいしいアメ
黒びかんアメ
常磐地方の人気をさらつた
唯一つの名産品
常磐線各駅鉄道弘済会
有名商店にて販売しております
あさ川製菓株式会社
水戸市大工町広小路 電2561・2908
支店 平市南町 電5755

石炭コークス
火力の強い 火持の長い カスの少ない
徳用石炭
※電話二一三七番 二一三八番へ
一俵よりお届けいたします
平市田町 常磐炭礦販売会社

財団法人
松村病院 産室新設
平市南町23 電（代表）2161
産婦人科 部長 佐藤稔
外科 院長 松村亨
精神科 部長 本坂剛
整形外科 部長 堀野雄
性病科 医員 浅野榮身
胃腸科 部長 高木浩雄
呼吸器科 部長 四戸隆太郎
神経科 部長 坂本剛
小児科 部長 金子茂蔵
放射線科 部長 四戸隆太郎
城東分院 平市手掴町二九
城南分院 平市小太郎町一八
◉入院随時（完全給食・完全看護）